

「2. (3) 学校施設の実態 ①学校施設の運営状況・活用状況等の実態」の事例

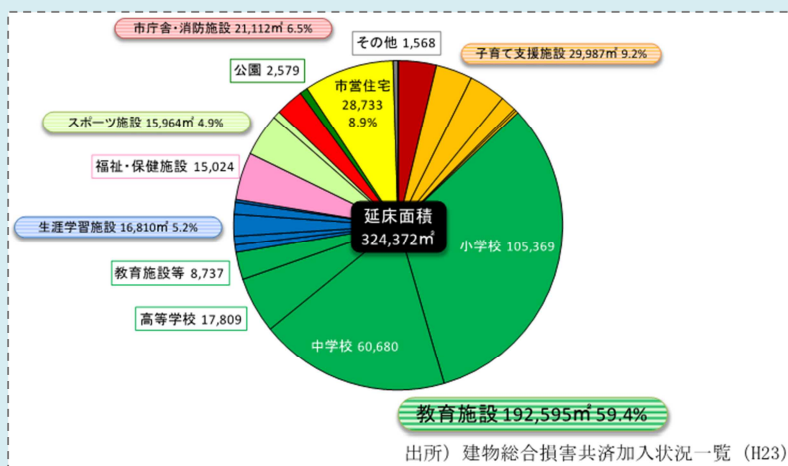
記事事例

■習志野市学校施設再生計画

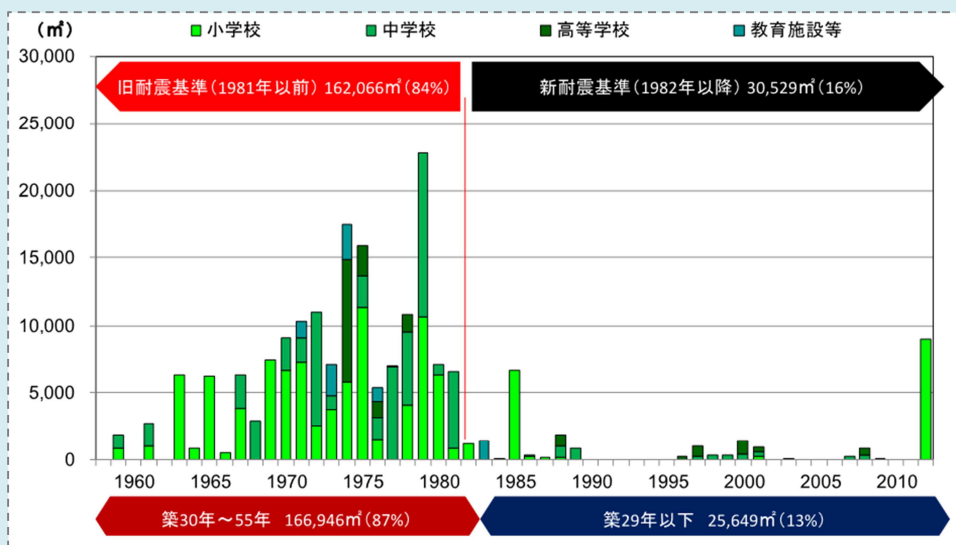
→多角的な視点による現状把握

- ・習志野市の学校施設が、公共施設全体に占める割合や建築年度別の保有状況を分析するとともに、児童生徒数の推計等を行っている。

【図表：公立施設に占める学校施設の割合（建物）】



【図表：学校施設の老朽化状況】



- ・また、少子化の進展に伴う余裕教室の発生について、平成 25 年 5 月 1 日現在の小中学校における余裕教室の状況を次のとおり整理している。

平成 25 年 5 月 1 日現在では、小学校における保有普通教室は 456 教室に対し、余裕教室数は 104 教室で、約 23%、中学校においては、保有普通教室数が 196 教室に対し、余裕教室数は 51 教室で、約 26%となっています。これらの余裕教室は、多目的室、学習室、放課後児童会室、ランチルームなどに利用されており、有効的に活用されています。

しかしながら、推計上では向山小学校や袖ヶ浦東小学校、秋津小学校等、今後、各学年 1 クラスになってしまう学校もあり、適正規模を考慮し、施設の統合等も考えていかなければなりません。一方で学校は教育の場であるとともに、地域コミュニティの拠点施設でもあり、慎重な対応が必要です。

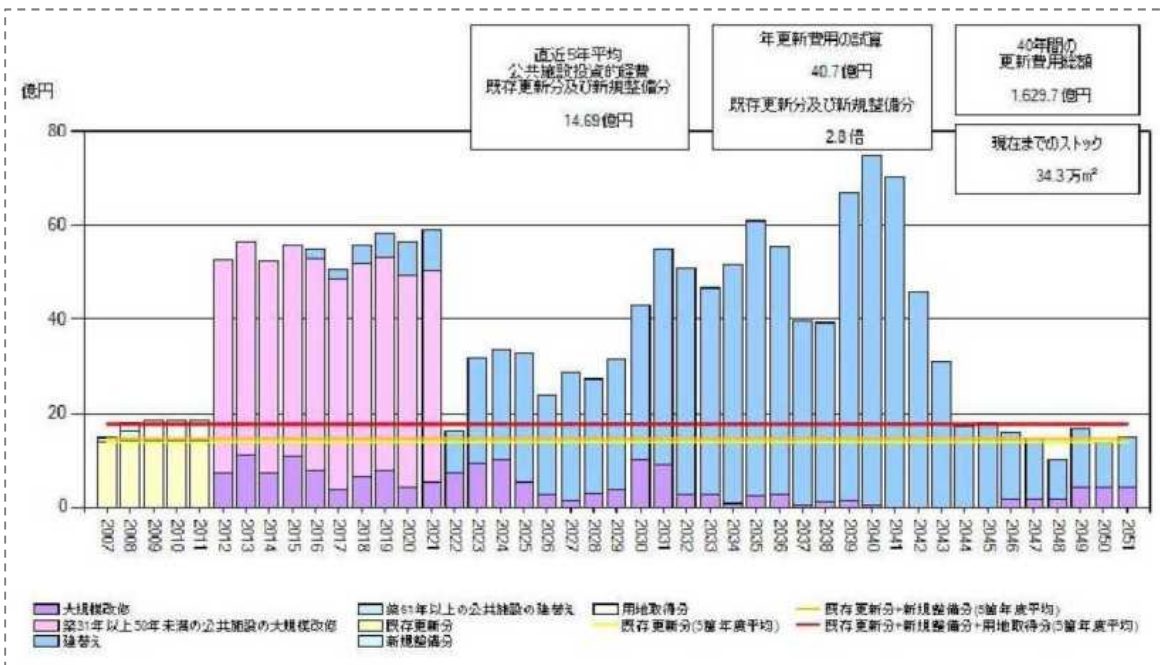
参考事例

■ 公共施設等更新費用試算ソフト

→ 簡易に公共施設の更新費用の推計を可能とする

- ・ 財団法人自治総合センターが行った調査研究により開発されたエクセル試算ソフトを財団法人地域総合整備財団が更新した無料の公共施設等の更新費用試算ソフト。
- ・ 試算方法が複雑化するのを避けて、地方公共団体の規模にかかわらず簡便に推計でき、将来の財政運営の参考にできるものとするを重視している。
- ・ 市町村が保有する学校等の公共施設や道路、橋りょう、上下水道などのインフラ資産を対象としている。
- ・ 「学校教育系施設」や「市民文化系施設」などの施設の種別ごとに、建替え、大規模改修について、更新年数経過後に現在と同じ延べ床面積等で更新すると仮定し、必要な費用を試算。

【図表：出力例】



- ・ 試算にあたっては、棟別の建築年度や建築面積等の基本的な項目を入力。
- ・ 建替えに係る更新年数や更新単価等は任意の数値を設定することが可能。

【図表：入力例】

通しNo.	建物名	所在地	施設名(※)	所管課	概要状況					施設(棟)延床面積(m²)(※)	構造	単位:千円 投資額 上、下水 処理施設 等のプラ ント部分	
					棟名	代表建築年度(年)	建築年度(年)(※)	敷地面積(m²)(※)	建築面積(m²)				建物総延床面積(m²)
001	A市役所	A市泉町1156番地の9	A市役所			2010	2010	11,000.41	6,807.01	25,814.20	25,814.20	プレストレストコンクリート造+鉄骨造(地下階:RC造+免震構造)	
002	××駅前連絡所	A市富士見町7丁目17	××駅前連絡所			1976	1976					RC造	
010	A市立第一小学	A市柴崎町2丁目20番	A市立第一小学校	教育委員会	校舎1	1972	1972	8,000.00	499.00		1,487.00	RC造	
	A市立第二小学		A市立第二小学校	教育委員会	校舎2	1975	1975		271.00		813.00	RC造	
	A市立第一小学		A市立第一小学校	教育委員会	体育館	1972	1972		1,230.00		1,872.00	RC造	

「2. (3) 学校施設の実態 ②学校施設の老朽化状況の実態」の事例

参考事例

■西尾市公共施設再配置実施計画 2014→2018

→構造体劣化調査による耐用年数の判定

- ・西尾市では、建物の長寿命化を判断するため、コンクリートの圧縮強度試験や中性化試験等により構造体劣化調査を実施している。
- ・調査対象は、建築後30年以上経過しているRCの建物とし、調査結果に基づき、建物の物理的（構造的）耐用年数を今後期待できる建物の使用期限として4段階に分類している。
- ・併せて、柱や梁（はり）などの骨組みとなるスケルトンと屋根や外装、内装、設備等のインフィルの目視調査で老朽化を判定。建物劣化調査結果については、4段階に分類して評価している。

【図表：鉄筋コンクリート造の構造体劣化調査の流れ】



【図表：構造体劣化調査に基づく物理的（構造的）耐用年数の分類】

判定区分	構造体劣化調査に基づく物理的（構造的）耐用年数
A	40年程度以上
B	20年以上40年未満
C	20年程度未満
D	構造体の耐久性に問題があると思われる

【図表：建築物劣化調査方法（イメージ図）】



【図表：建築物劣化調査に基づく健全判定の分類】

判定区分	建築物劣化調査に基づくインフィルおよびスケルトン等の健全度判定
A	健全と思われる
B	軽微な劣化がある状態
C	重度の劣化がある状態
D	最重要部材に重度の劣化がある状態または部材の機能が維持できない恐れがある状態

参考事例

■川崎市学校施設長期保全計画

→評価区分と評価項目の設定

- 川崎市では、全市立学校の実態把握・評価を実施するに当たって、文部科学省の「学校施設の評価のあり方について～学校施設の改善のために～（最終報告）平成21年3月」を参考とし、図表「施設評価区分と評価項目」のとおり、安全性、快適性、学習活動への適応性、環境への適応性、その他の5つの観点を評価区分とし評価項目を設定。

【図表：施設評価の区分と評価項目（1）】

評価区分	評価項目		評価項目（詳細）
安全性	建物の劣化 （老朽化）		屋上・屋根の劣化状況
			屋上金物の劣化状況
			外壁の劣化状況
			軒（バルコニー）の劣化状況
			サッシの劣化状況
			外部雑（金物等）の劣化状況
			トプライトの転落防止対策の状況
			内部床の劣化状況
	落下物等の 対策	非構造部材の 状況	内部壁の劣化状況
			内部建具の劣化状況
			内部天井の劣化状況
			脆弱なガラス（スリガラス）の使用状況
			窓ガラス等のひび割れ等
			照明器具の取付金物等の腐食・ゆるみ等
			吊り下げ式照明の使用状況
	転落防止対策		窓際に足掛かりとなる固定棚等の存在状況
	防災対策		体育館のトイレの整備状況
			屋外から使用可能なトイレの整備状況
			防災備蓄倉庫の整備状況
			災害時に水を確保する設備の整備状況
			自家発電設備の整備状況
	防犯対策		門扉の施錠状況、電気錠の整備状況
			防犯カメラの設置状況
外灯の設置状況 不審者の侵入を禁止する看板等の設置状況			
外構の舗装・塀等の劣化		舗装の劣化状況	
		U字溝の劣化状況	
		門扉の劣化状況	
		フェンスの劣化状況、フェンス基礎の劣化状況	
		擁壁の劣化状況	
		ブロック・万年塀の存在状況	
快適性	バリアフリー対応		段差の解消状況（玄関・廊下・トイレ）
			手摺の設置状況（階段・トイレ）
			車椅子対応トイレの設置状況
			エレベータの設置状況
	給排水設備の整備状況		給水設備の整備状況（赤水発生等）
			排水設備の整備状況
	トイレの整備状況		衛生面（臭い）
			洋風便器の整備状況
			トイレプースの劣化状況
			便器の破損等の状況
衛生設備に関する点検状況		トイレの衛生状況の点検、清掃活動状況	
空調設備の整備状況		空調設備の整備状況	
教室の黒板等の整備状況		黒板の劣化状況	
		掲示版の劣化状況	

【図表：施設評価の区分と評価項目（2）】

評価区分	評価項目	評価項目（詳細）
学習活動への適応性	情報化対応	インターネット設備の整備状況
	学習環境の整備	施設整備基準等に定める教室等の確保及び面積確保状況
		多様な指導方法に対応した教室等の整備状況
		多様な指導方法に対応した教室等の活用状況
環境への適応性	室内環境 Q 1	音環境
		温熱環境
		光・視環境
		空気質環境
	サービス性 Q 2	機能性
		耐用性・信頼性
		対応性・更新性
	室内環境（敷地内） Q 3	生物環境の保全
		まちなみ・景観への配慮
		地域性・アメニティへの配慮
	エネルギー L R 1	建物の熱負荷制御
		自然エネルギー利用
		設備システムの高効率化
		効率的運用
	資源・マテリアル L R 2	水資源保護
		非再生性資源の使用量削減
		汚染物質含有材料の使用回避
	敷地外環境 L R 3	地球温暖化への配慮
地球環境への配慮		
周辺環境への配慮		
その他	近隣への迷惑防止対策	近隣への日照障害の抑制状況
		近隣への砂塵対策状況
		近隣への球技用の球の侵入対策状況
	地域開放への対応	校庭の開放
		体育館の開放
		教室等の開放

- ・ 設定した評価項目について、図表「評価区分別評価方法」のとおり、学校アンケートや現場調査等により実態把握を行い、5つの評価区分の評価を実施。5つの観点のうち「安全性」と「快適性」は、施設台帳の棟毎を基本に評価を行い、各棟の評価を床面積に応じて加重平均したうえで学校全体評価とし、他の観点については、棟別ではなく学校全体で評価を行う。
- ・ これにより学校施設の実態を定量的に評価したデータを、図表「学校カルテ」のとおり、学校カルテとして一元化し、「見える化」を図っている。

【図表：評価区分別評価方法】

評価区分	主な実態把握情報	評価方法
安全性	学校アンケート 現場調査	31項目を5段階により評価した平均点
		棟ごとに評価
快適性	学校アンケート 現場調査	14項目を5段階により評価した平均点
		棟ごとに評価
学習活動への適応性	学校アンケート (ヒアリング含む)	4項目を5段階により評価した平均点 学校全体で評価
環境への適応性	CASBEE 学校※ 環境衛生検査	CASBEE学校により、指標20項目で算出した、建築
		物の環境効率指標を5段階で評価
		学校全体で評価
その他	学校アンケート 現場調査	6項目を5段階により評価した平均点
		学校全体で評価

※CASBEE 学校：学校施設における総合的な環境性能評価手法（文部科学省）

【図表：学校カルテ】

(表面)

(裏面)

基本情報	
空中歩道・連絡橋の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/>
建物敷地のエアコンの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
給水方式	<input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> 船体利用 <input type="checkbox"/> 並排
7か所・万葉集の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/>
ガラスの種類	<input checked="" type="checkbox"/> 強化 <input type="checkbox"/> 複層 <input type="checkbox"/> 70-F <input type="checkbox"/> 30+9(A)
落下防止網の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
太陽光発電	有 <input checked="" type="checkbox"/> 設置日 H 年 月
雨水利用システム	有 <input checked="" type="checkbox"/>
壁面緑化	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
屋上緑化	有 <input checked="" type="checkbox"/>
牧草の芝生化	有 <input checked="" type="checkbox"/>
ピオトープ	有 <input checked="" type="checkbox"/>
エレベーター	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 設置日 H 年 月
屋根下用トイレの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
施設開放の場所・名	<input checked="" type="checkbox"/> 校庭 <input type="checkbox"/> 体育館
署名	

年度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計	平均値
2002 技術施設電気工事												
2002 水・電気・ガス設備電気設備工事												
2008 給湯器の電気設備工事												
2009 防火モニター設備工事												
2010 洗面洗浄機の電気設備工事												

写真

●実物の写真

現状：①写真：一部ガラスが曇りしているが部分的な曇りは対応している、②写真：ガラスの曇り具合が異なる。

対策：①曇り具合が異なるガラスは、曇り具合が異なるガラスに交換する。②曇り具合が異なるガラスは、曇り具合が異なるガラスに交換する。

●断熱・見下拵

現状：①屋根、ロッカー等の対策が不十分。

対策：①断熱材の敷設等による対策が不十分なので断熱材の敷設が必要と考えられる。

●バリアフリー

現状：①トイレ、階段口の段差や手摺の設置の箇所が多いため。

対策：①段差や手摺の設置等必要な対策が必要と考えられる。

学校カルテ 施設名: OO小学校

更新日: 平成24年10月31日 写真

所在地	〇区〇町1-1	
地区・地区	第二種中高層住居専用地域・準防火地域	
構造種別	R2造・5造	
階数	地上3階	
敷地面積	3,304.0 m ² (換算) 3,338.24 m ² (換算)	
延床面積	7978.0 m ² (内) 容積率: 239.6%	
建築年月	平成3年9月～平成19年3月	
延床率	普通校舎 29 特別校舎 7 造	
延床率	普通校舎 0 造 特別校舎 0 造	
児童生徒数	普通 884人 特別 12人	
手摺数	普通 25 字数 4 字数 4	
トイレ	無 六ヶ所 25 m ² W 15 m	
バス	バス 6 5 通車	

学校施設 レーダーチャート

学校施設評価 (内訳) 更新日: 平成24年10月31日

評価項目	1	2	3	4	5	合計	平均値
安全性	0.00	1.00	0.33	0.33	0.78	4.40	3.34
信頼性	0.00	1.00	0.40	0.30	0.53	4.30	3.00
維持管理への満足度	0.38	1.28	0.28	0.34	0.44	3.00	3.00
環境への満足度	-	-	-	-	-	3.00	-
その他	-	-	-	-	-	4.17	4.17

日割 (CASBEE評価) ランク5及びA=5・ランクB=4・ランクC=3・ランクD=2

評価項目	1	2	3	4	5	合計	平均値
安全性	4.12	4.27	4.43	4.58	4.73		
信頼性	4.31	4.31	4.63	4.43	4.37		
維持管理への満足度	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00		
環境への満足度	-	-	-	-	-		
その他	-	-	-	-	-		

参考事例

■立川市公共施設保全計画

→実態把握シートによる劣化状況の一元的な管理

- ・立川市では、建物の実態把握及び劣化状況を調査するにあたり、まず事前調査として、学校施設台帳や工事履歴等の資料・データから現地調査により確認すべき事項をリストアップしている。
- ・現地調査では、施設管理者からのヒアリング等による不具合箇所を確認するとともに、事前調査によりリストアップした項目を目視により確認し、部位毎に劣化状況を図表「部位別技術判断基準」のとおり4段階で評価している。

▶評価指標

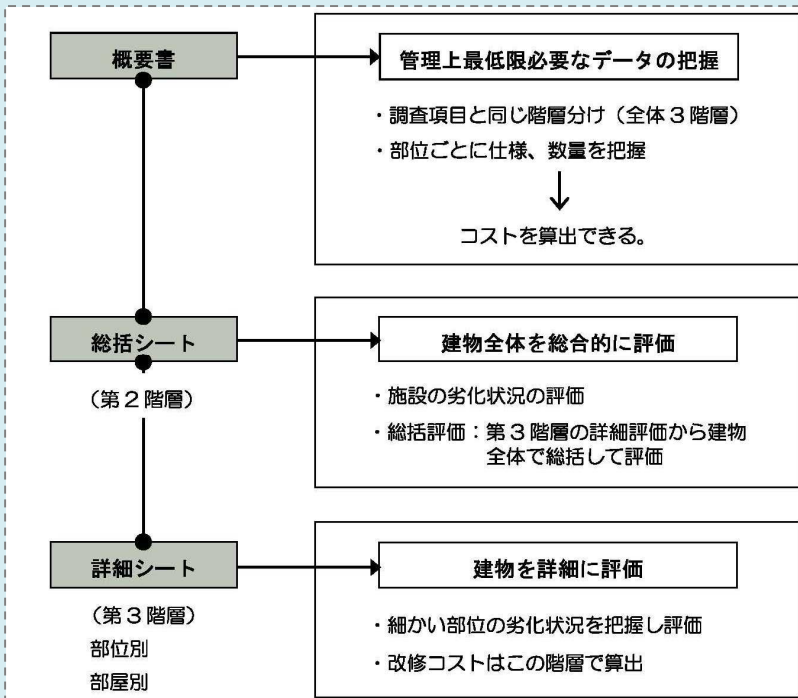
- A評価・・・概ね良好
- B評価・・・部分的に経年劣化が見られる
- C評価・・・全体的に経年劣化が見られる
- D評価・・・早急に対応する必要がある劣化・不具合

【図表：部位別技術判断基準】 ※下記図表は一部

外部仕上		評価			
		A評価	B評価	C評価	D評価
部位					
屋上	床仕上	良好	<コンクリート> 部分的に ひび割れ・変質・排水不良・ シーリング材の損壊	<コンクリート> 広範囲に ひび割れ・変質・排水不良・ シーリング材の損壊 ・土砂のたい積・雑草	<コンクリート> 漏水 広範囲に破断・損壊・幅広の ひび割れ
		良好	<防水仕上> 部分的に ひび割れ・ふくれ・変質・排水 不良・シーリング材の損壊	<防水仕上> 広範囲に ひび割れ・変質・排水不良・ シーリング材の損壊 ・土砂のたい積・雑草	<防水仕上> 漏水 広範囲に破断・損壊・めく れ・幅広のひび割れ
	立上り	良好	部分的に 変質・変形・シーリングのひび	広範囲に 変質・変形・シーリングのひび	損壊・腐食・脱落
	笠木	良好	<金属> 部分的に 変質・取付金物のさび	<金属> 広範囲に 変質・取付金物のさび	<金属> 腐食・脱落・損壊・取付金物 の腐食
		良好	<モルタル> 部分的に 浮き・ひび割れ・はく離	<モルタル> 広範囲に 浮き・ひび割れ・はく離	<モルタル> 幅広のひび割れ・はく離・欠 落
		良好	<タイル> 部分的に 目地のひび割れ・破断・変形	<タイル> 広範囲に 目地のひび割れ・破断・変形	<タイル> 脱落・幅広のひび割れ・破 断・はらみ
	ルーフトレイン	良好	部分的に 排水不良・変質 ・土砂のたい積・雑草	広範囲に 排水不良・変質 ・土砂のたい積・雑草	損壊・腐食
	屋上雑	良好	<フェンス・タラップ・丸環> 部分的に さび・変形	<フェンス・タラップ・丸環> 広範囲に さび・変形	<フェンス・タラップ・丸環> 腐食・損壊・ぐらつき
		良好	<機械基礎等> 部分的に ひび割れ・浮き・はく離	<機械基礎等> 全体的に ひび割れ・浮き・はく離	<機械基礎等> 幅広のひび割れ・はく離・欠 落
		良好	<トップライト> 部分的に 変形・変質・ガラス等のひび割 れ・取付金物のさび	<トップライト> 全体的に 変形・変質・ガラス等のひび割 れ・取付金物のさび	<トップライト> 漏水・損壊・ガラス等の破 損・取付金物の腐食
屋根	屋根仕上	良好	<金属> 部分的に 塗装の剥がれ・さび・変質・ シーリング材のひび・取付金物 のさび	<金属> 広範囲に 塗装の剥がれ・さび・変質・ シーリング材のひび・取付金物 のさび 部分的に 腐食・取付金物の損壊	<金属> 漏水 広範囲にはがれ・変形・腐 食・取付金物の損壊
		良好	<シングル葺き等> 部分的に 塗装の剥がれ・変質・汚れ・ シーリング材のひび・取付金物 のさび	<シングル葺き等> 広範囲に 塗装の剥がれ・変質・汚れ・ シーリング材のひび・取付金物 のさび	<シングル葺き等> 漏水 広範囲にはがれ・変形・腐 食・取付金物の損壊

- ・ 現地調査の結果については、実態把握シートに反映させている。
- ・ 現況劣化度は、5年に1度現地調査を実施し、見直しを行っている。また、改修工事の更新記録は原則、施設の改修を実施した時点で更新、または、改修した建物、工事項目をまとめておいて5年に1度の見直しの時に更新する。

【図表：実態把握シートの構成】



【図表：概要書】

施設名称・階層番号		立上り階の上層部			CSE	
主要用途/生管種	社会教育・文化施設	生管種	用途種	用途種		
所在地	東京都中央区千代田1-1-1	市街地	市街地			
調査年度	昭和59年11月	調査年度	調査年度			
調査階層	地下1階					
調査項目						
調査対象	1,114.27 m ²	2,367.07 m ²				
調査対象	3,565.05 m ²	11,128.89 m ²				
調査対象	6,852.03 m ²	22,110.71 m ²				
調査対象	7,134.40 m ²	22,322.20 m ²				
調査項目	圧壊確認	第1種圧壊確認				
調査項目	圧壊確認	第2種圧壊確認				
調査項目	圧壊確認	第3種圧壊確認				
調査項目	圧壊確認	第4種圧壊確認				
調査項目	圧壊確認	第5種圧壊確認				
調査項目	圧壊確認	第6種圧壊確認				
調査項目	圧壊確認	第7種圧壊確認				
調査項目	圧壊確認	第8種圧壊確認				
調査項目	圧壊確認	第9種圧壊確認				
調査項目	圧壊確認	第10種圧壊確認				
調査項目	圧壊確認	第11種圧壊確認				
調査項目	圧壊確認	第12種圧壊確認				
調査項目	圧壊確認	第13種圧壊確認				
調査項目	圧壊確認	第14種圧壊確認				
調査項目	圧壊確認	第15種圧壊確認				
調査項目	圧壊確認	第16種圧壊確認				
調査項目	圧壊確認	第17種圧壊確認				
調査項目	圧壊確認	第18種圧壊確認				
調査項目	圧壊確認	第19種圧壊確認				
調査項目	圧壊確認	第20種圧壊確認				
施設名称・階層番号		立上り階		CSE		
主要用途/生管種	社会教育・文化施設	生管種	用途種	用途種		
所在地	東京都中央区千代田1-1-1	市街地	市街地			
調査年度	昭和59年11月	調査年度	調査年度			
調査階層	地下1階					
調査項目						
調査対象	1,114.27 m ²	2,367.07 m ²				
調査対象	3,565.05 m ²	11,128.89 m ²				
調査対象	6,852.03 m ²	22,110.71 m ²				
調査対象	7,134.40 m ²	22,322.20 m ²				
調査項目	圧壊確認	第1種圧壊確認				
調査項目	圧壊確認	第2種圧壊確認				
調査項目	圧壊確認	第3種圧壊確認				
調査項目	圧壊確認	第4種圧壊確認				
調査項目	圧壊確認	第5種圧壊確認				
調査項目	圧壊確認	第6種圧壊確認				
調査項目	圧壊確認	第7種圧壊確認				
調査項目	圧壊確認	第8種圧壊確認				
調査項目	圧壊確認	第9種圧壊確認				
調査項目	圧壊確認	第10種圧壊確認				
調査項目	圧壊確認	第11種圧壊確認				
調査項目	圧壊確認	第12種圧壊確認				
調査項目	圧壊確認	第13種圧壊確認				
調査項目	圧壊確認	第14種圧壊確認				
調査項目	圧壊確認	第15種圧壊確認				
調査項目	圧壊確認	第16種圧壊確認				
調査項目	圧壊確認	第17種圧壊確認				
調査項目	圧壊確認	第18種圧壊確認				
調査項目	圧壊確認	第19種圧壊確認				
調査項目	圧壊確認	第20種圧壊確認				

3. 記事事例・参考事例

【図表：総括シート】

実態把握シート【総括】

建設年度		主要仕様		代表数量	築年	評価	所見	写真
部位	仕様	数量	築年	評価	所見	写真		
外観仕上り	外壁	珪藻土珪藻土	珪藻土珪藻土	珪藻土珪藻土	E	<ul style="list-style-type: none"> ・外観に比べているが、外観に比べている ・部分には、外観に比べている ・外観に比べている 		
	屋根	ガルバリウム鋼板	ガルバリウム鋼板	ガルバリウム鋼板				
	窓	樹脂サッシ	樹脂サッシ	樹脂サッシ				
	床	タイル	タイル	タイル				
内装仕上り	床	フローリング	フローリング	フローリング	-	<ul style="list-style-type: none"> ・フロアトイレのタイル破損 		
	壁	珪藻土珪藻土	珪藻土珪藻土	珪藻土珪藻土				
	天井	珪藻土珪藻土	珪藻土珪藻土	珪藻土珪藻土				
	ドア	木製	木製	木製				
電気設備	照明	LED照明	LED照明	LED照明	A	<ul style="list-style-type: none"> ・照明器具の設置 ・照明器具の設置 		
	空調	エアコン	エアコン	エアコン				
	配線	配線	配線	配線				
	その他	その他	その他	その他				
給排水衛生設備	給水	給水	給水	給水	A	<ul style="list-style-type: none"> ・給水設備の設置 ・給水設備の設置 		
	排水	排水	排水	排水				
	衛生	衛生	衛生	衛生				
	その他	その他	その他	その他				
空調設備	空調	空調	空調	空調	A	<ul style="list-style-type: none"> ・空調設備の設置 ・空調設備の設置 		
	配管	配管	配管	配管				
	その他	その他	その他	その他				
	その他	その他	その他	その他				
その他設備	その他	その他	その他	その他	A	<ul style="list-style-type: none"> ・その他設備の設置 ・その他設備の設置 		
	その他	その他	その他	その他				
	その他	その他	その他	その他				
	その他	その他	その他	その他				

【図表：詳細シート】

実態把握シート【詳細】

部位	仕様	数量	築年	評価	状況	所見	写真
電気設備	照明	LED照明	LED照明	LED照明	E	<ul style="list-style-type: none"> ・照明器具の設置 ・照明器具の設置 	
	空調	エアコン	エアコン	エアコン			
	配線	配線	配線	配線			
	その他	その他	その他	その他			
給排水衛生設備	給水	給水	給水	給水	A	<ul style="list-style-type: none"> ・給水設備の設置 ・給水設備の設置 	
	排水	排水	排水	排水			
	衛生	衛生	衛生	衛生			
	その他	その他	その他	その他			
空調設備	空調	空調	空調	空調	A	<ul style="list-style-type: none"> ・空調設備の設置 ・空調設備の設置 	
	配管	配管	配管	配管			
	その他	その他	その他	その他			
	その他	その他	その他	その他			
その他設備	その他	その他	その他	その他	A	<ul style="list-style-type: none"> ・その他設備の設置 ・その他設備の設置 	
	その他	その他	その他	その他			
	その他	その他	その他	その他			
	その他	その他	その他	その他			